



令和8年5月13日
統合幕僚監部

ロシア海軍艦艇の動向について

令和8年5月12日（火）午後11時頃、海上自衛隊は、西表島（沖縄県）の北西約50kmの海域において、同海域を南西進するロシア海軍ステレグシチー級フリゲート2隻（艦番号「333」及び「343」）、ドゥブナ級補給艦、バルク級航洋えい船及び貨物船6隻の計10隻を確認した。

その後、12日（火）から13日（水）にかけて、これらの艦艇が与那国島（沖縄県）と西表島との間の海域を南西進し、太平洋へ向けて航行したことを確認した。

なお、これらの艦艇は、9日（土）から10日（日）にかけて、対馬海峡を南西進したものと同一である。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊の第1水上訓練支援隊所属「げんかい」（呉）により、警戒監視・情報収集を行った。

ステレグシチー級フリゲート（艦番号「333」）



ステレグシチー級フリゲート（艦番号「343」）



ドゥブナ級補給艦



バルク級航洋えい船

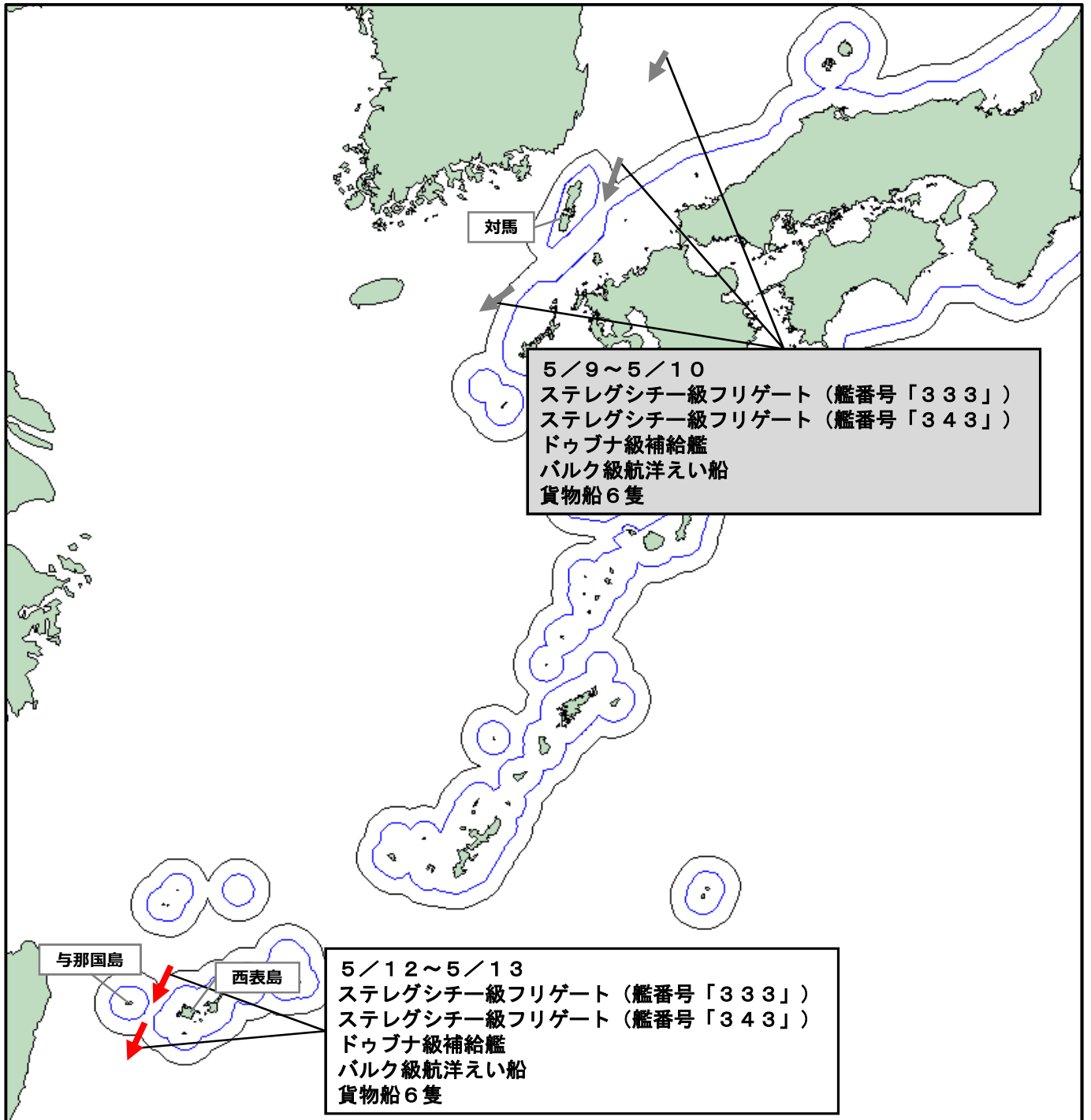


貨物船 6 隻





行動概要



→ : ロシア海軍艦艇

□ : 今回公表

■ : 既公表